

S P S
食品用途

出光興産、内外で拡大

電磁調理器容器は米向けも

出光興産は、シンジオタクチックポリスチレン(PS)「ザレック」の市場拡大に向けた一環として、電磁調理器用容器向けの食品関連用途展開を加速する。既に業務用の樹脂向けには高いシェアを持つが、一般家庭用としても顧客がPS製の食器類や電磁調理器用容器などのセット販売を開始し好評だ。さらに電磁調理器用容器向けでは岩谷産業グループの岩谷マテリアルが「グルラボ」の商標で米国の販売も開始し、海外での需要拡大も期待が高まっている。

GOURLAB



岩谷マテリアルの「グルラボ」

PSはメラセニ触した特殊PSであり、同分解性、電気特性、成形性に加え、耐熱性、融点は約270度C、耐薬品性も兼ね備える。現状では電子・電装部品向けを中心とした車載用途が需要の約6割を構成しているが、低比重(軽量化効果)も評価されており、国内外で広く採用されている。食器関連では高温水や洗剤などでの洗浄に耐え、繰り返し使用できる。耐久性などが評価されており、早くから国内の大手牛乳メーカーなどに樹脂向けに採用実績などを評価し、顧客が量販店などで食器や電磁調理器用容器などのセット販売を開始し、一般家庭用にも市場が広がる。車載用途を電装化など

タイ工場が稼働開始

日本ゼオン 年度後半から商業生産

日本ゼオンは、タイに新設したアクリルゴム工場の稼働を開始した。現在、アクリルゴムの需要が伸びている。タイ工場は川崎、倉敷、米ヶ崎、タッキーに続く4カ所目の生産拠点。19年に着工し、20年に完成を予定している。

飛沫感染防止板が好評

デュポン・押出発泡PS製

バイオプラWG設置

三ヶケミヤ エフビコなど

日本プラスチック工業連盟は、バイオプララックの利用促進に向けたワーキンググループ(WG)を立ち上げた。三菱ケミカルやエフビコなど

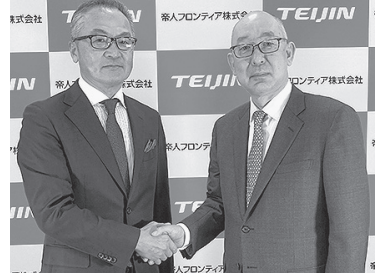
コロナ禍も受注獲得

新中計策定へ 価値提案を強化

横河電機は21年度からスタートする新中期経営計画の策定に取り組んでいる。その基本戦略として、顧客への価値提案を強化する。具体的な経営目標などの数値は明らかになっていないが、受注拡大によりトップラインを伸ばす計画となる見込みだ。主力の制御事業については、コロナ禍の影響で顧客の投資意欲が抑制され、新規投資やシステム更新を先延ばしする

田中社長 戦略5分野に注力

平次期社長 帝人フロンティア 現中計を推進



握手する日光社長(左)と平田次期社長

帝人フロンティアの社長、企業風土の醸成の3点を挙げた。中計については「帝人グループが掲げる目標は安全・安心の確保や健康増進など、中計を達成する見込みがある」と、環境・インフラ分野での取り組みを挙げた。また、コロナ禍の影響で、顧客の投資意欲が抑制され、新規投資やシステム更新を先延ばしする

「リサイクルの推進による循環型社会の実現、環境負荷低減と省エネに貢献する製品の開発、製造工程の改善を図る」と強調し、「事業領域が広いため、目標をしっかりと定め、実績をこつこつと積み上げることが成長に不可欠だ」と語った。

日光社長は、平田氏に「帝人グループが掲げる目標は安全・安心の確保や健康増進など、中計を達成する見込みがある」と、環境・インフラ分野での取り組みを挙げた。また、コロナ禍の影響で、顧客の投資意欲が抑制され、新規投資やシステム更新を先延ばしする

「リサイクルの推進による循環型社会の実現、環境負荷低減と省エネに貢献する製品の開発、製造工程の改善を図る」と強調し、「事業領域が広いため、目標をしっかりと定め、実績をこつこつと積み上げることが成長に不可欠だ」と語った。

「リサイクルの推進による循環型社会の実現、環境負荷低減と省エネに貢献する製品の開発、製造工程の改善を図る」と強調し、「事業領域が広いため、目標をしっかりと定め、実績をこつこつと積み上げることが成長に不可欠だ」と語った。

「リサイクルの推進による循環型社会の実現、環境負荷低減と省エネに貢献する製品の開発、製造工程の改善を図る」と強調し、「事業領域が広いため、目標をしっかりと定め、実績をこつこつと積み上げることが成長に不可欠だ」と語った。

「リサイクルの推進による循環型社会の実現、環境負荷低減と省エネに貢献する製品の開発、製造工程の改善を図る」と強調し、「事業領域が広いため、目標をしっかりと定め、実績をこつこつと積み上げることが成長に不可欠だ」と語った。

「リサイクルの推進による循環型社会の実現、環境負荷低減と省エネに貢献する製品の開発、製造工程の改善を図る」と強調し、「事業領域が広いため、目標をしっかりと定め、実績をこつこつと積み上げることが成長に不可欠だ」と語った。

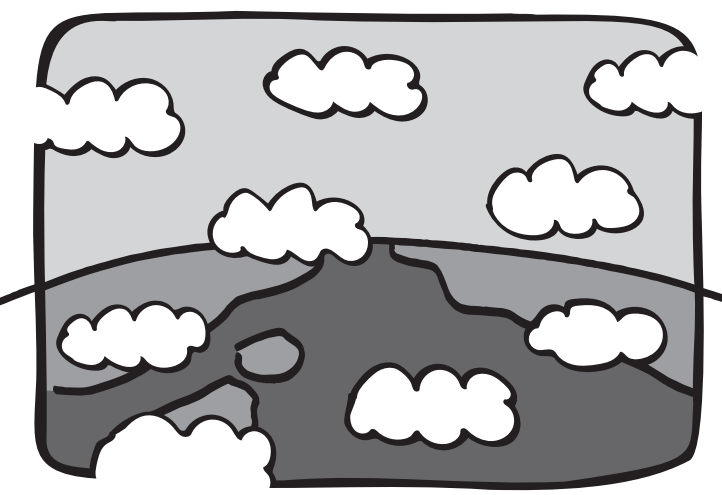
「リサイクルの推進による循環型社会の実現、環境負荷低減と省エネに貢献する製品の開発、製造工程の改善を図る」と強調し、「事業領域が広いため、目標をしっかりと定め、実績をこつこつと積み上げることが成長に不可欠だ」と語った。

「リサイクルの推進による循環型社会の実現、環境負荷低減と省エネに貢献する製品の開発、製造工程の改善を図る」と強調し、「事業領域が広いため、目標をしっかりと定め、実績をこつこつと積み上げることが成長に不可欠だ」と語った。

「リサイクルの推進による循環型社会の実現、環境負荷低減と省エネに貢献する製品の開発、製造工程の改善を図る」と強調し、「事業領域が広いため、目標をしっかりと定め、実績をこつこつと積み上げることが成長に不可欠だ」と語った。

「リサイクルの推進による循環型社会の実現、環境負荷低減と省エネに貢献する製品の開発、製造工程の改善を図る」と強調し、「事業領域が広いため、目標をしっかりと定め、実績をこつこつと積み上げることが成長に不可欠だ」と語った。

Chemistry with a heart
TOKUYAMA



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

国連が発表した「持続可能な開発目標(SDGs)」は、グローバルな取り組みです。一企業にとってはあまりにも大きいテーマであるけれど、地球に住む一員として「今ならできる」「今こそできる」ことをしていかに進めていけば、必ずゴールが見えてくると信じます。 www.tokuyama.co.jp

地球人の一員として。

化学で答を出す。
株式会社 トクヤマ

その会社は、
無数のハートで出来ている。

クラレという会社の真ん中にあるのは、
一人ひとりの社員の胸にある大切な思いでした。
「世界には様々な問題があって、
それを素材のチカラで、解決したい」。
真っ直ぐな、たくさんの思いが集まって、
この会社はできている。
その一つ一つを知っていこうと思うのです。

クラレの真ん中を知る時が来た。

kuraray
株式会社 クラレ

